

株 主 メ モ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
中間配当 毎年9月30日
- 株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
- 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
- 公告方法 電子公告により行う。
(ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、東京都において発行する日本経済新聞に掲載いたします。)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。

なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。

株式会社ティラド

〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-25-3
TEL:03-3373-1101 (代)
URL: <http://www.trad.co.jp/>



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



T.RAD Co., Ltd.

株式会社ティラド

証券コード7236

T.RAD REPORT 2017

第115期 事業報告書

(平成28年4月1日から平成29年3月31日まで)



To our Shareholders

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さてこの度、第115期（平成28年4月1日～平成29年3月31日）が終了いたしましたので、ここに事業報告書をお届けし、事業の概要につきましてご報告申し上げます。



代表取締役社長

嘉納 裕躬

当連結会計年度の経済環境は、米国大統領選後の円安・株高などを背景に、企業収益環境の改善が持続し、緩やかな回復基調にあります。先行きは、米国新政権の保護主義的な政策運営、欧州大陸諸国の選挙など海外の政治動向において不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当企業集団の売上高（外貨ベース）は、日本を除き、米国、欧州、アジア及び中国において増加しました。営業利益（外貨ベース）は、アジアを除き、日本、米国、欧州及び中国において増益となり、親会社株主に帰属する当期純利益についても、前期比増益となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は前期比5,475百万円増加し、107,608百万円（5.4%増）、営業利益は1,969百万円増加し、3,216百万円（157.9%増）、経常利益は2,120百万円増加し、3,544百万円（148.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は1,277百万円増加し、2,022百万円（171.4%増）となりました。

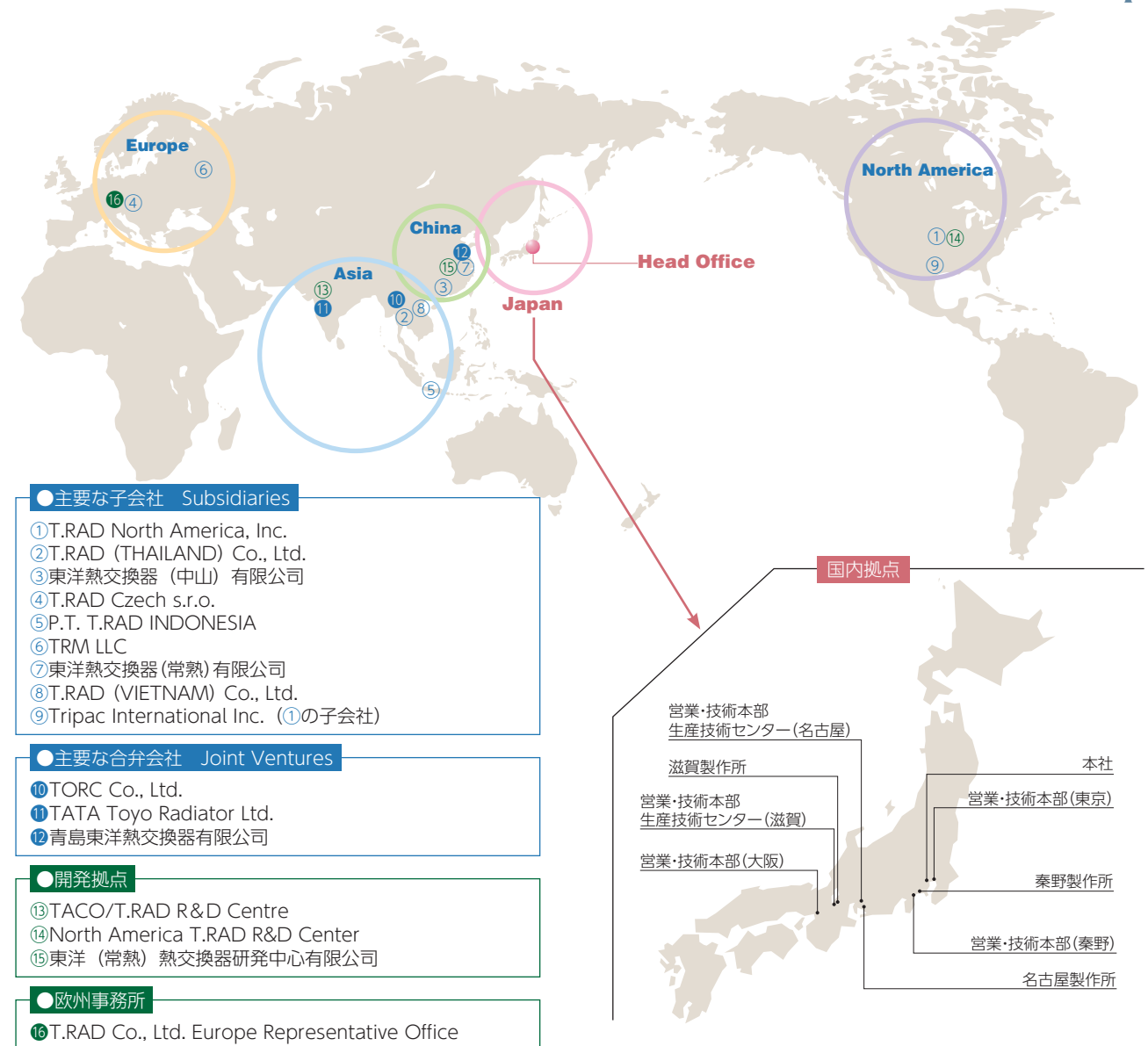
なお、当期末の配当金といたしましては1株当たり3円とし、中間配当金の3円とあわせ、1株当たり6円の年間配当とさせていただきます。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成29年6月

Global Network of T.RAD

～地球環境を配慮した「世界No.1熱交換システムメーカー」を目指して～



Business Categories

自動車用熱交換器事業

当社の自動車用熱交換器は、乗用車・二輪車・トラック・バスなど幅広い車両で多くのお客様に採用されております。ラジエータ・チャージエアクーラ・オイルクーラ/ウォーム・ヒーターコア・EGRクーラなど様々な媒体に対応した多種多様な熱交換器を、お客様が急速にグローバル化を進める中、日本・北米・欧州・アセアン・中国の5極8か国で生産・販売しております。

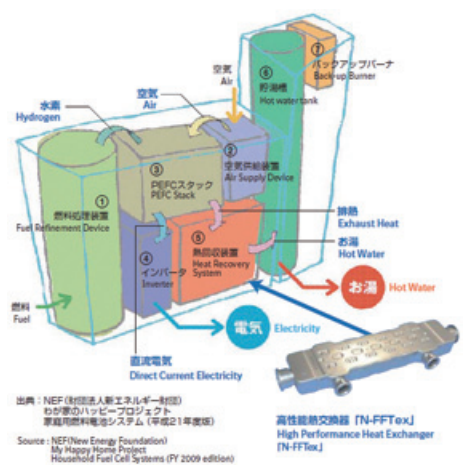
また、これらの商品は低燃費化や窒素酸化物の削減にも大きく貢献しております。



家庭用固定式燃料電池システム

当社は、家庭用固定式燃料電池システム用の高性能・コンパクトな熱交換器を生産・販売しております。

システムの省エネ化を達成することで二酸化炭素など温室効果ガスの低減に貢献しております。



建設・産業・農業機械用熱交換器事業

当社の建設・産業・農業機械用熱交換器は、世界トップクラスのシェアを誇っております。特にパワーショベル用38%（一部ローカル専業メーカー向けは除く）・フォークリフト用35%は世界No.1です。極寒・灼熱・粉塵・衝撃といった厳しい環境に耐える熱交換器を実現するために、高度な開発力・技術力を要求されております。当社は、ラジエータ・オイルクーラ・チャージエアクーラを一体化したモジュール製品であるN-ACoM (Normal-Advanced Cooling Module) を開発し販売しております。これにより建設・産業機械の小型・低燃費・低排ガス・低コストに大きく貢献しております。



Special Issue

環境配慮型製品

地球環境にやさしい熱交換器への取り組み・・・乗用車用 コアの高性能(高効率)化

地球環境へ深刻な影響を及ぼしかねない地球温暖化。

21世紀ではこれを防止するため、二酸化炭素など温室効果ガスをいかに削減するかが世界共通の課題となってきました。

当社では、人類の新しい暮らしと未来を創造するために、クリーンエネルギー開発のキーテクノロジーといえる高性能熱交換器の開発に取り組んでいます。



ホンダ Accord HYBRID



ホンダ Accord HYBRID用 ラジエータ

- 日本及び北米などで販売されるAccord HYBRIDに搭載されています。
- 圧倒的低燃費の実現に貢献しています。



トヨタ ハイブリッド車用 排熱回収器

- 本製品は、暖気時の排気ガス熱を回収し、冷却水の暖気に利用することにより、燃費向上・暖房性能向上に貢献します。
- コア部分の高性能化により、小型・軽量化を実現しました。
- 真空 Ni 一体系ろう付けにより、耐久性の向上とコスト低減の両立を図りました。



トヨタ ハイブリッド車用 モータオイルクーラ

- ハイブリッド車のモータを冷却するための専用オイルクーラです。

Performance by Operating Segment

セグメント別の概況

【日本】

自動車用売上高は、主要客先の当社受注機種の販売が好調に推移したことにより、前期比増加しました。建設産業機械用売上高は、主要客先の受注が年度後半にかけて回復したことにより、前期並みとなりました。空調機器用売上高は、主要客先の内製化により、受注が大幅に減少しました。この結果、当該セグメントの売上高は、458百万円減少し、51,521百万円となりました。

営業利益は、材料価格低下等の影響により、前期比816百万円増加し、777百万円となりました。

【欧州】

チェコにおいて空調機器用売上高が大幅に増加したため、当該セグメントの売上高は、外貨ベースで、前期比30.0%の大幅な増加となりました。円貨ベースでは、788百万円増加し、3,866百万円となりました。

営業利益は、前期比26百万円増加し、△284百万円となりました。外貨ベースでは、12.7%の増益となりました。

【中国】

自動車用売上高は、新規受注機種の量産開始と小型車減税措置の影響により、主要客先の受注が増加しました。建設産業機械用売上高は、アセアン及び韓国向けの受注増と中国国内市場回復による受注増が寄与したことにより、増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、外貨ベースで、前期比22.8%の増加となりました。円貨ベースでは、1,047百万円増加し、9,593百万円となりました。

営業利益は、前期比428百万円増加し、1,717百万円となりました。外貨ベースでは、45.8%の増益となりました。

【米国】

自動車用売上高は、新規受注した機種の量産開始と、第1四半期に新規株式取得したTripac International Inc.の売上が新たに加わったことにより、前期比大幅に増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、外貨ベースで、前期比16.3%の増加となりました。円貨ベースでは、2,875百万円増加し、26,003百万円となりました。

営業利益は、生産混乱が収束し、前期比631百万円増加しましたが、人件費、スクラップ費用等が高止まりし、△334百万円となりました。外貨ベースでは、64.2%の増益となりました。

【アジア】

自動車用売上高は、二輪用がタイとベトナムにおいて増加し、四輪用は、インドネシアにおいて増加しました。この結果、当該セグメントの売上高は、外貨ベースで、前期比19.1%の増加となりました。円貨ベースでは、2,273百万円増加し、15,636百万円となりました。

営業利益は、タイにおいて、四輪用新機種立ち上げに伴う費用増加等の影響により、前期比43百万円減少し、986百万円となりました。外貨ベースでは、0.4%の減益となりました。

【その他】

国内連結子会社における運送業等の事業活動を含むその他セグメントの売上に つきましては、当該セグメントの国内3子会社の決算日を前年度、12月から3月に変更したことに伴い、前年度の売上が3か月分多く計上されたことにより、前期比1,049百万円減少し、986百万円となりました。

Topics

1. 日野自動車「品質管理優良賞」を受賞

2017年3月、日野自動車株式会社様の仕入先総会において「品質管理優良賞」を受賞しました。

国内の納入実績より、2016年度において納入品における品質実績の評価及び今後のさらなる改善への期待により、選出いただきました。

今後も、お取引先様に信頼いただける製品を継続して提供できるよう、当社一丸となって活動してまいります。



2. 中国(江蘇省常熟市)にR&Dセンターを設立

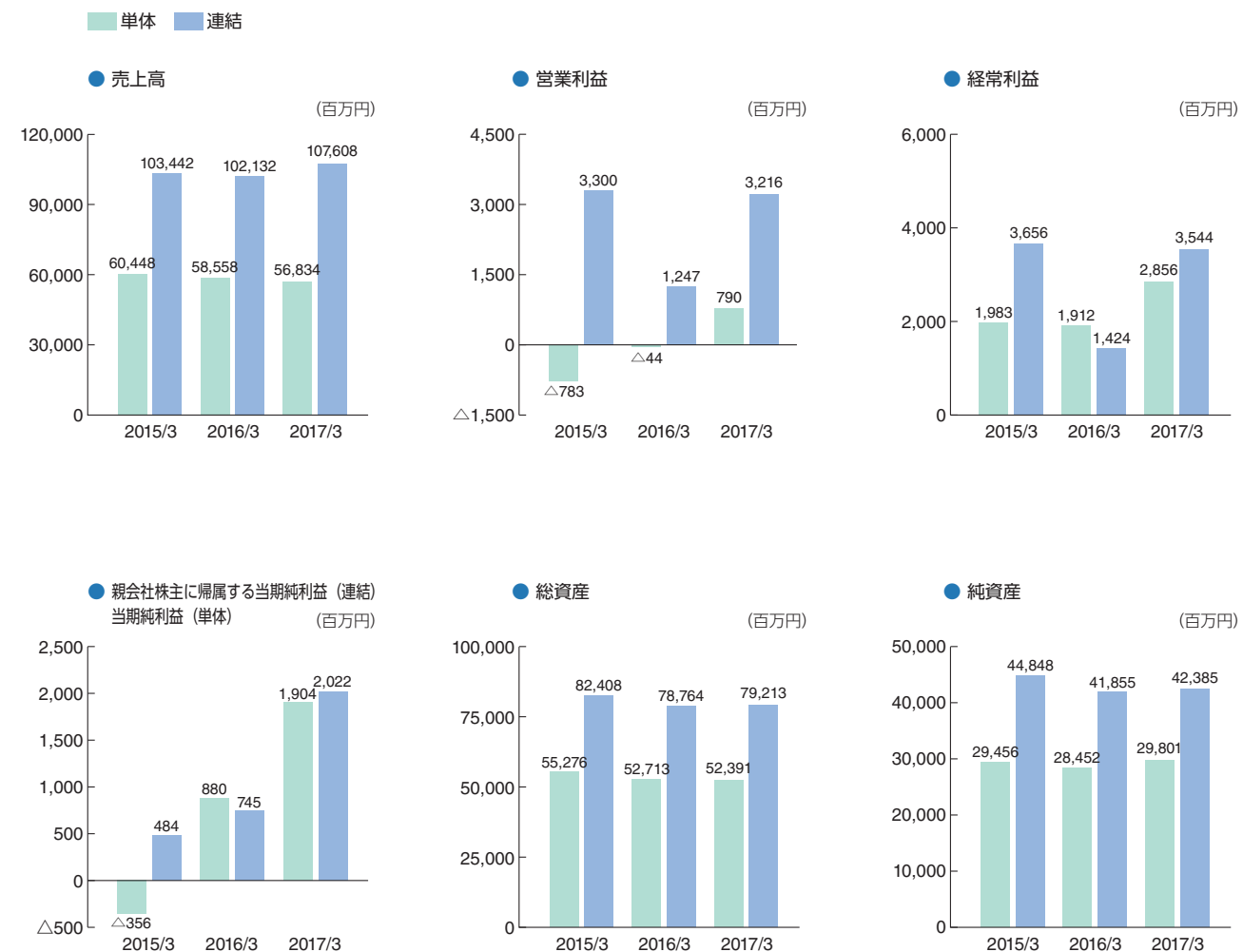
当社連結子会社である「東洋熱交換器(常熟)有限公司(TRCS)」敷地内に、アメリカ、インドに次ぎ3拠点目の海外R&Dセンター「東洋(常熟)熱交換器研发中心有限公司(TRCSR; T.RAD (Changsyu) R&D Center Co., LTD.)」を設立いたしました。

中国市場向けの開発拠点とし、お取引先様のニーズに迅速に応えられるようにいたしました。



Financial highlights

財務ハイライト



Financial statements (Consolidated)

財務諸表 (連結)

連結貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円未満切捨て)

科 目	前連結会計年度	当連結会計年度
	平成28年3月31日現在	平成29年3月31日現在
資産の部		
流動資産	36,673	37,598
固定資産	42,091	41,615
有形固定資産	30,613	29,607
無形固定資産	728	959
投資その他の資産	10,750	11,047
資産合計	78,764	79,213
負債の部		
流動負債	29,354	24,465
固定負債	7,555	12,362
負債合計	36,909	36,827
純資産の部		
株主資本	38,238	39,289
資本金	8,545	8,545
資本剰余金	7,473	7,473
利益剰余金	22,625	24,162
自己株式	△405	△891
その他の包括利益累計額	2,642	2,195
その他有価証券評価差額金	695	1,148
為替換算調整勘定	1,590	550
退職給付に係る調整累計額	356	496
新株予約権	37	—
非支配株主持分	936	900
純資産合計	41,855	42,385
負債・純資産合計	78,764	79,213

連結貸借対照表について

当連結会計年度末の総資産は、有形固定資産が減少しましたが、売上の増加に伴う流動資産の増加及び投資有価証券の時価上昇等により、79,213百万円（前連結会計年度末比448百万円増）となりました。

負債は、有利子負債（含むりース）等の減少により、36,827百万円（82百万円減）となりました。

純資産は、為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金が増加したことにより、42,385百万円（530百万円増）となりました。

Financial statements (Consolidated)

財務諸表 (連結)

連結損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円未満切捨て)

科 目	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
売上高	102,132	107,608
売上原価	92,809	95,944
売上総利益	9,323	11,664
販売費及び一般管理費	8,076	8,447
営業利益	1,247	3,216
営業外収益	726	853
営業外費用	549	525
経常利益	1,424	3,544
特別利益	57	388
特別損失	244	1,115
税金等調整前当期純利益	1,237	2,817
法人税、住民税及び事業税	948	1,013
法人税等調整額	△ 434	△ 303
当期純利益	723	2,107
非支配株主に帰属する 当期純利益又は非支配株主 に帰属する当期純損失(△)	△ 21	84
親会社株主に帰属 する当期純利益	745	2,022

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円未満切捨て)

科 目	前連結会計年度 (自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成28年4月1日 至 平成29年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,958	6,693
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,115	△ 5,775
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,385	△ 1,425
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 273	△ 177
現金及び現金同等物の増加額(減少額)	△ 1,045	△ 684
現金及び現金同等物の期首残高	7,805	6,760
新規連結に伴う現金及び 現金同等物の増加額	—	140
現金及び現金同等物の期末残高	6,760	6,216

連結キャッシュ・フロー計算書について

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの増減要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益の増加等により、前期比1,735百万円増加し、6,693百万円プラスとなりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、支出が前期比2,340百万円減少し、5,775百万円マイナス、及び財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の減少、自己株式取得及び配当金支払増加により、前期比3,811百万円減少し、1,425百万円マイナスとなりました。

その結果、当連結会計年度末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末比544百万円減少し、6,216百万円となりました。

Stock Information

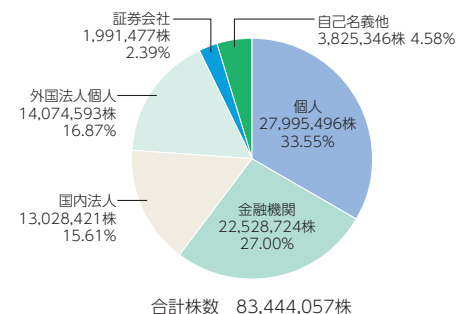
株式の状況 (平成29年3月31日現在)

(a) 発行可能株式総数	150,000,000株
(b) 発行済株式の総数	83,444,057株
(c) 1単元の株式の数	1,000株
(d) 株主数	9,068名
(e) 大株主 (上位10名)	

株主名	持株数 単位=1,000株	持株比率 %
トヨタ自動車株式会社	3,735	4.48
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者資産管理サービス 信託銀行株式会社	3,537	4.24
ティラド取引先持株会	3,056	3.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,523	3.02
株式会社陣屋	2,261	2.71
クリアストリーム バンキング エス エー	2,243	2.69
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,239	2.68
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505001	2,143	2.57
明治安田生命保険相互会社	1,928	2.31
三井住友信託銀行株式会社	1,916	2.30

(注) 当社は自己株式3,825,346株を保有しています。

●所有者別株式分布状況



Corporate Data

会社概要 (平成29年3月31日現在)

社 名	株式会社 ティラド T.RAD CO., LTD.
本 社	〒151-0053 東京都渋谷区代々木三丁目25番3号 (あいおいニッセイ同和損保新宿ビル)
設 立	1936年11月11日
資 本 金	85億4,564万円
代 表 者 名	嘉納裕躬
従 業 員 数	1,531名
事 業 所	本社 (東京) 製作所 (神奈川、愛知、滋賀) 営業・技術本部 (東京、神奈川、愛知、滋賀、大阪) 生産技術センター (滋賀、愛知)
海外関連会社	アメリカ、チェコ、ロシア、インド、 インドネシア、タイ、中国、ベトナム

取締役・監査役 (平成29年6月28日現在)

代表取締役社長	嘉納 裕 躬
常務取締役	山形 勘 司
常務取締役	百瀬 芳 孝
取締役	山崎 徹 夫
取締役	宮崎 富 夫
社外取締役	清水 浩 一
社外取締役	亀井 洋 一
常勤監査役	難波 道 弘
常勤監査役	渡辺 博 之
社外監査役	勝田 正 文
社外監査役	大庭 康 孝